

計画段階評価

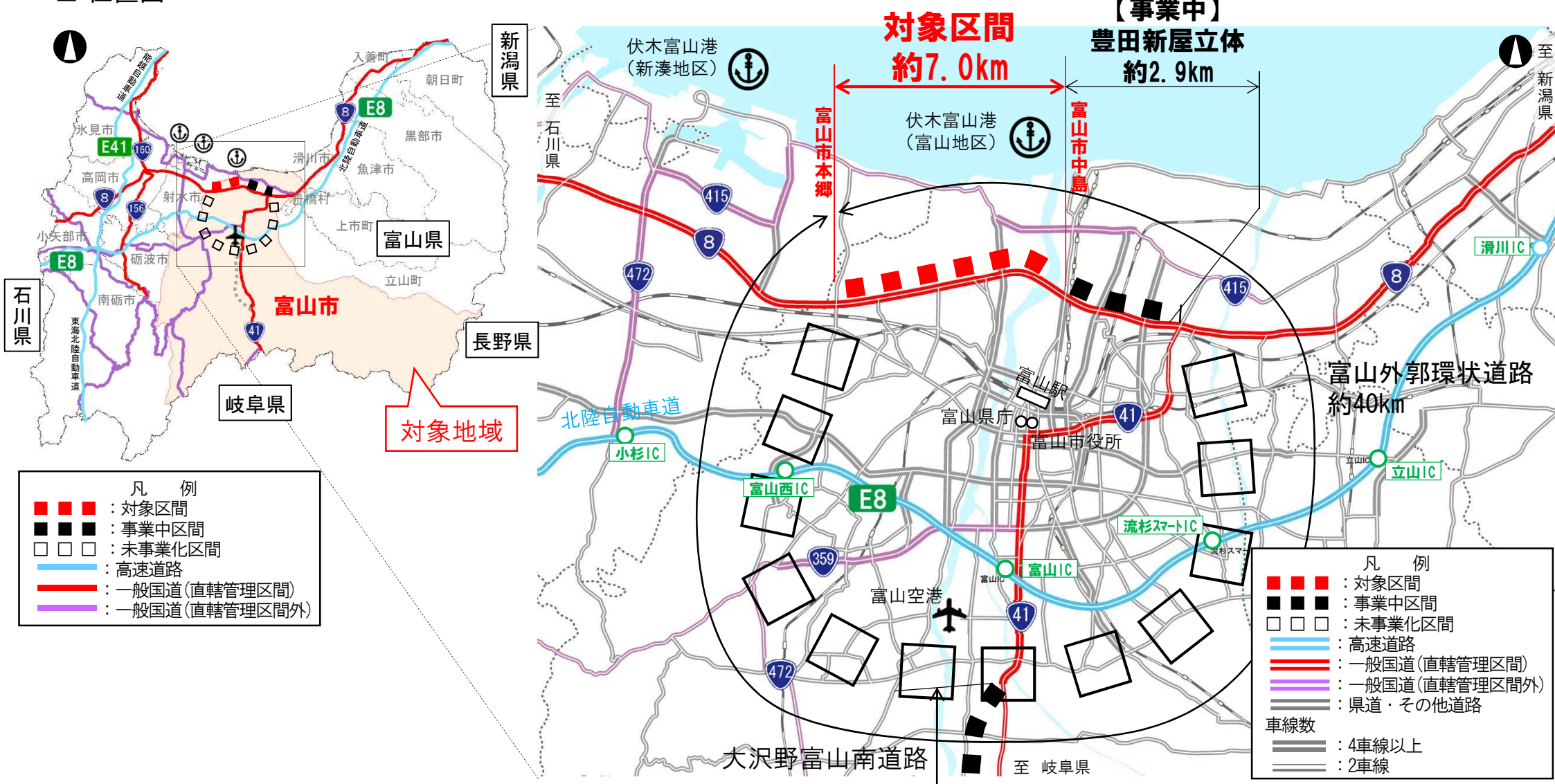
第2回 説明資料

目 次

1. 計画段階評価の検討の流れ	・ ・ ・	1
2. 第1回意見聴取の概要	・ ・ ・	8
3. 政策目標の設定	・ ・ ・	18
4. 対応方針（ルート帯案）の検討	・ ・ ・	20
5. 第2回意見聴取方法について	・ ・ ・	28

1. 計画段階評価の検討の流れ

- ## ■ 位置図



- ## ■位置図



■豊田新屋立体の標準横断図

Figure 1: Road cross-section diagram. The diagram shows a road layout with a total width of 28.0m. From left to right, the sections are: a 3.5m sidewalk (歩道) with a pedestrian icon, a 2.0m shoulder (路肩), a 7.0m lane (車道) with a truck icon, a 3.0m central strip (中央帯) with a tree icon, a 7.0m lane (車道) with a car icon, a 2.0m shoulder (路肩), and a 3.5m sidewalk (歩道) with a pedestrian icon.

Figure 1: Road cross-section diagram. The diagram shows a symmetrical road layout with a total width of 48.50m. The central section is 19.50m wide, consisting of two 7.0m lanes, a 3.0m central strip, and 1.25m shoulders. The side sections are 10.0m wide each, consisting of a 3.0m sidewalk, a 1.5m tree strip, and a 5.5m lane. The left side is labeled '側道' and '歩道 (右折レーン)' with a right-turn lane. The right side is labeled '側道' and '歩道 (右折レーン)' with a right-turn lane. Vehicles are shown in the lanes: a truck and car on the left, a truck and car on the right, and a bus and car on the far right.

Figure 1: Plan view of a road cross-section. The diagram shows a road with a total width of 48.50m and a central section of 19.50m. The central section includes two 7.0m lanes, a 3.0m central strip, and two 1.25m shoulders. The outer sections are 10.0m wide and include a 3.0m sidewalk, a 1.5m tree strip, and a 5.5m lane. The diagram also shows a 3.5m right-turn lane on each side of the central section. A truck is shown in the left lane, and a car is shown in the right lane.

■平成30年度 第7回社会資本整備審議会道路分科会北陸地方小委員会の概要

実施日：平成31年2月14日（木） 開催

主な議事：①道路交通の現状と課題

②政策目標案の設定

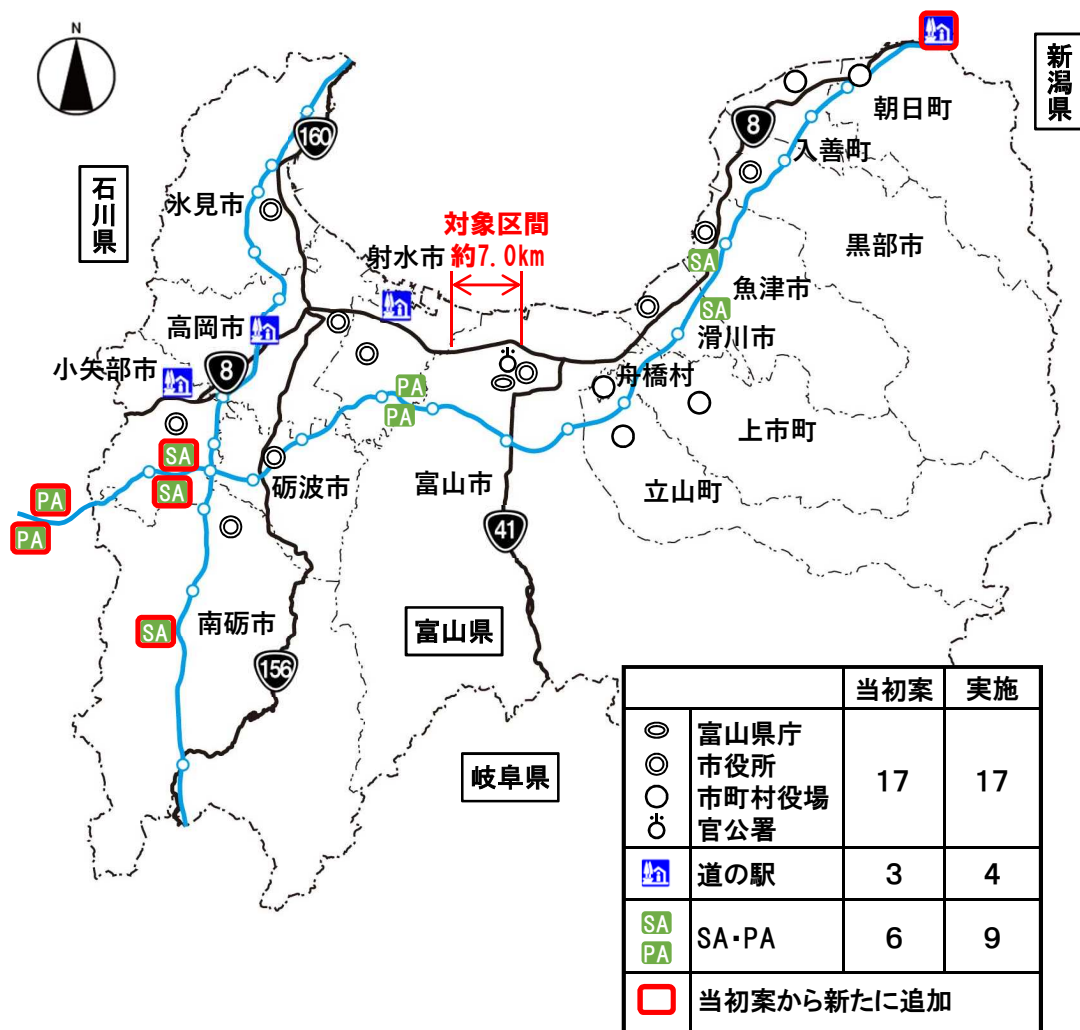
③第1回意見聴取方法

●前回審議における主な質問・指摘事項と回答・対応

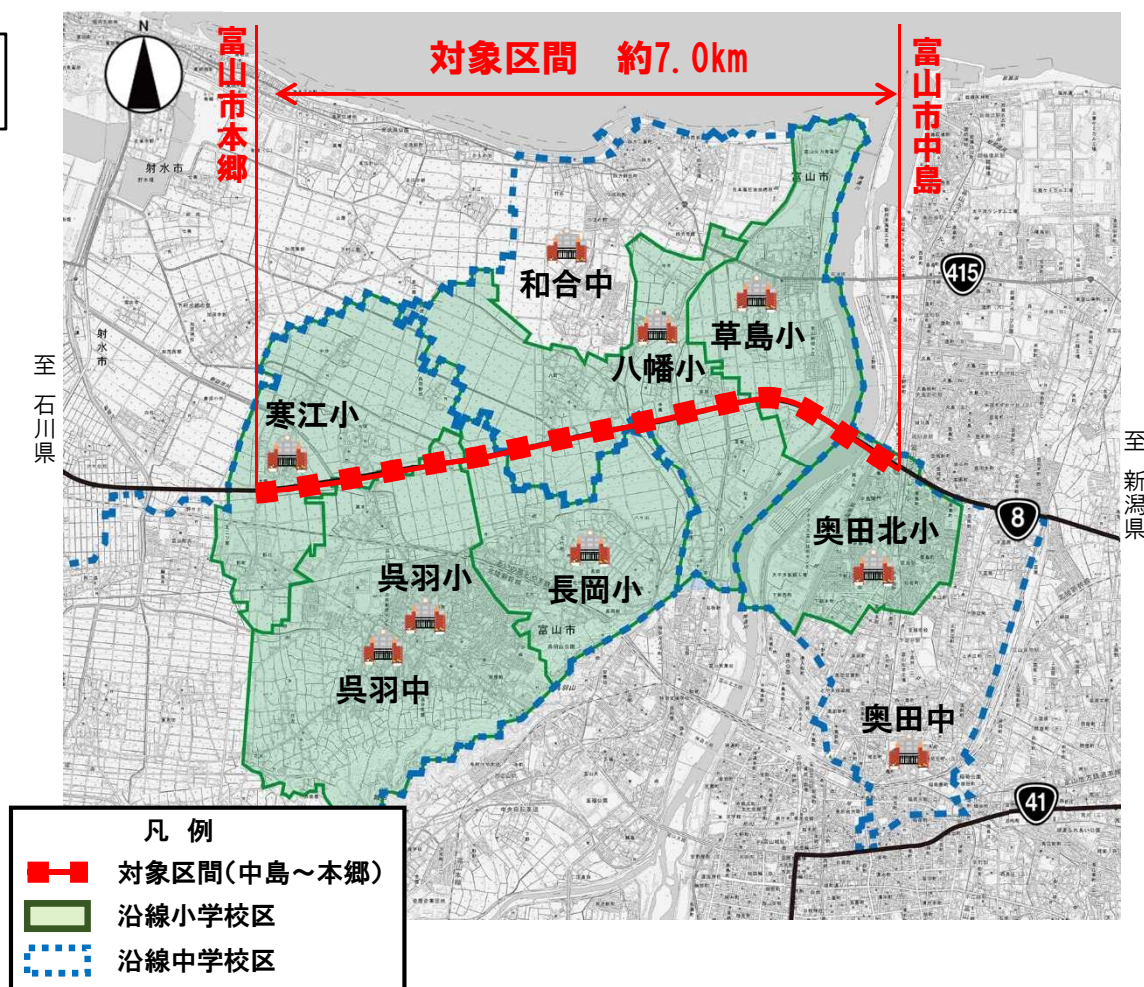
質問・指摘事項	回答・対応
(③第1回意見聴取方法について)	
・国道8号は広域交通も担っているため、意見聴取の対象は富山県内だけでなく、隣県等を含めて行うなど工夫されたい。	・留置アンケートを配置する箇所を拡大・追加した。 ・新潟県トラック協会と石川県トラック協会へ調査協力を依頼した。【5頁参照】
・子供の交通安全等も含め、幅広く地域の意見を聴取するために、近くの学校等を調査対象とすることも検討されたい。	・対象区間沿線の小学校と中学校をヒアリング調査の対象に追加した。 【5頁参照】

- 留置アンケートを配置する箇所を拡大・追加した。
- 対象区間沿線の小学校(6校)と中学校(3校)をヒアリング調査の対象に追加した。
- 新潟県トラック協会と石川県トラック協会へ調査協力を依頼した。

■ 留置アンケート配置箇所の位置図



■ 対象区間沿線の小学校と中学校の学校区



※学校区は、下記ホームページを参照

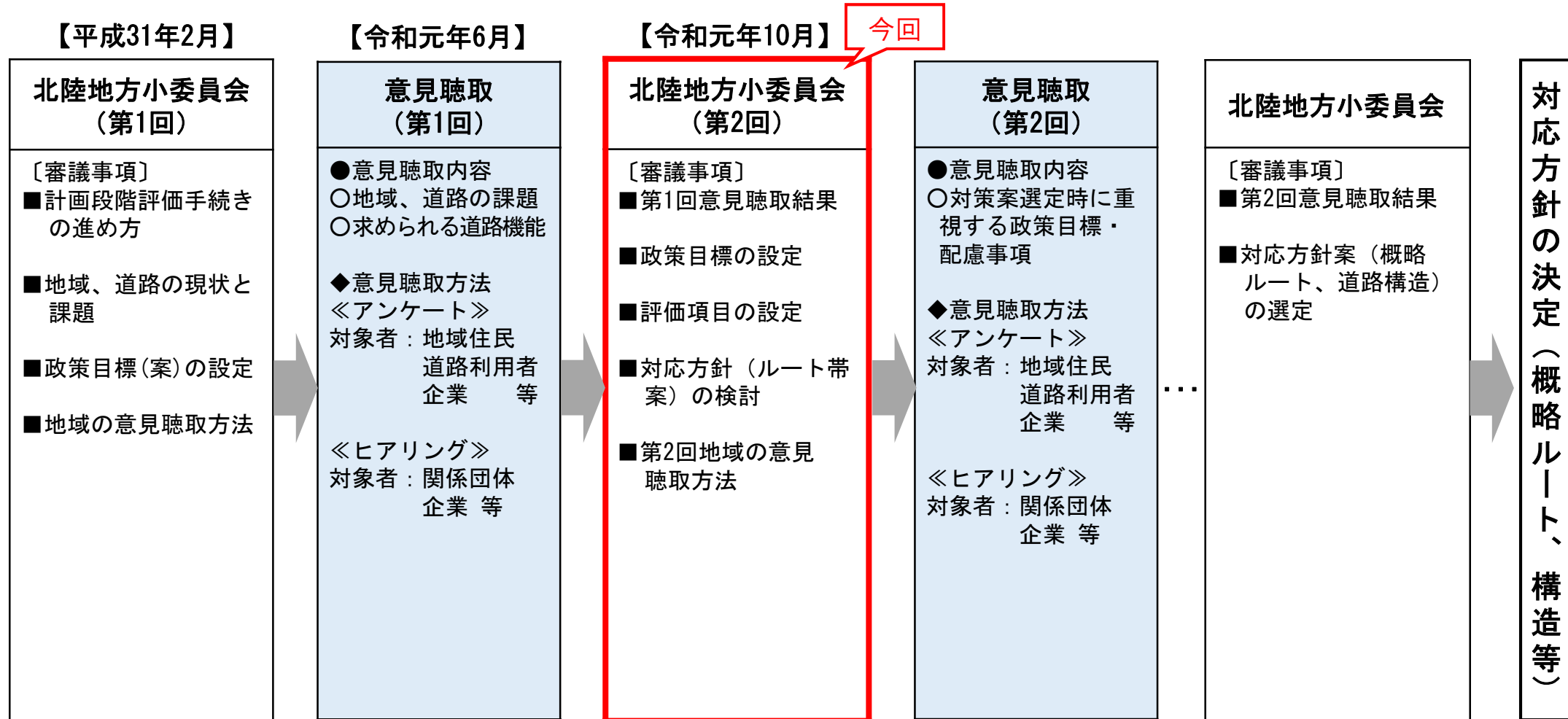
https://www.gaccomm.jp/search/p16/public_es/ (学校教育情報サイト Gaccomm)

1-4. 今後の計画段階評価の検討の流れ

6

- 地域住民や道路利用者の意見を聴きながら、対応方針〔概略ルート、構造等〕について検討を行う。

計画段階評価



- 地域、道路交通の状況と課題、地域の将来像等を踏まえ、以下の政策目標(案)を設定
- これらの目標を達成するための対策案として、対象区間における道路整備方針を検討

○対象地域における政策目標（案）の設定

地域、道路交通の状況と課題

- ①慢性的な渋滞
- ②交通事故が多発
- ③製造業への影響
- ④公共交通への影響
- ⑤救急搬送活動への支障
- ⑥河川氾濫等による被害

地域の将来像

- 総合計画
- 都市マスタープラン
- 国土強靱化地域計画

- 交通の円滑化
- 交通安全の確保
- 地域産業の活性化
- 快適・安心な暮らしづくり
- 災害に強い道路の確保

○対策案の検討

【渋滞関連】

- ・ 必要な交通容量が確保され、円滑な走行が可能な道路とは

【事故関連】

- ・ 事故の危険性が少なく、安全性が高い道路とは

【物流関連】

- ・ 速達性が向上し、定時性が確保される道路とは

【生活関連】

- ・ 公共交通の定時性、救急搬送の速達性が向上できる道路とは

【防災関連】

- ・ 災害時にも通行が可能な道路とは

○道路整備方針（案）

道路交通の状況と課題を解決し、地域の将来像を実現する複数案を設定し検討

2. 第1回意見聴取の概要

2-1. 意見聴取の概要

■実施目的

地域、道路の課題と、求められる道路機能に関する意見を収集

■意見聴取期間

令和元年6月～7月(約1ヶ月間)

■配布方法

- ①住民用は市報により配布
- ②事業所用は会報等により配布
- ③上記以外は県市町村役場、道の駅や高速道路SA・PAにアンケート用紙を留置
- ④HP上でのWebアンケート

■意見聴取の対象

①アンケート調査

項目		調査対象	調査方法
地域住民	沿線住民	(対象区間に隣接する町内会の住民)	市報による配布・郵送回収 (全戸配布(約1,800世帯)※1)
	周辺住民	(富山県内全市町村の住民)	留置アンケート(富山県庁、富山県内全市町村の市役所・町村役場(本庁舎)、道の駅、高速道路SA・PA※2に配置) 関係団体(富山県婦人会)へ配布
	一般市民	(広く一般の人々)	Webアンケート※3
事業者	製造業等	(富山商工会議所、富山市北商工会)	会報等による配布・郵送回収 (約8,900社)※4
	運送業	(富山県トラック協会、新潟県トラック協会、石川県トラック協会)	

②ヒアリング調査

項目	調査対象	
関係団体 (計25団体)	○交通事業者【1団体】 ○消防機関【1団体】 ○事業者【11団体】	○警察機関【1団体】 ○地方自治体【2団体】 ○教育機関【9団体】

■アンケート配布範囲



※1：世帯数：住民基本台帳（H31.3末）

※2：道の駅：カモンパーク新湊、万葉の里高岡、メルヘンおやべ、越後市振の関の計4箇所

高速道路SA・PA：不動寺PA上り下り、小矢部川SA上り下り、呉羽PA上り下り、有磯海SA上り下り、城端SAの計9箇所

※3：事務所ホームページに設置、県市町村のホームページにリンクバナーを掲載

※4：富山商工会議所の会員数約5,600社、富山市北商工会の会員数約1,250社、富山県トラック協会の正会員数約600社、新潟県トラック協会の正会員数約800社、石川県トラック協会の正会員数約650社

■意見聴取の内容

〔地域住民用〕

問1 国道8号(対象区間)の道路利用についてお聞きします。
(該当するものに○を付けてください)

A.利用頻度	1.週に5回以上 3.週に1～2回 5.年に数回	2.週に3～4回 4.月に1～2回 6.利用したことがない(問2へ)
B.利用目的	1.通勤・通学 2.通院 3.家事・買物 4.仕事(営業・運送等) 5.観光・レジャー 6.その他(括弧内にご記入ください)	
C.主な利用手段	1.自動車 3.バイク	2.公共交通(バス・タクシー) 4.自転車 5.徒歩

〔事業者等用〕

問1 国道8号(対象区間)の道路利用についてお聞きします。
(該当するものに○を付けてください)

A.利用頻度	1.週に5回以上 3.週に1～2回 5.年に数回	2.週に3～4回 4.月に1～2回 6.利用したことがない(問2へ)
B.利用目的	1.営業 2.運送・運搬 3.送迎 4.旅客 5.利用しない 6.その他(括弧内にご記入ください)	

〔地域住民用〕

〔事業者等用〕 共通

5段階評価

「そう思う」
「どちらかといえばそう思う」
「どちらともいえない」
「どちらかといえばそう思わない」
「そう思わない」

問2 将来を見据えた地域の課題(案)(下記A～F)について、
「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価してください。
下記A～F以外に、あなたが課題だと思うことがあれば、
ご自由にお書きください。

- A. 国道8号(中島～本郷)は、朝夕を中心に渋滞が発生していて、目的地に到着するまでに時間がかかる。
- B. 国道8号(中島～本郷)は交通事故が発生しやすく、非常に危険である。
- C. 国道8号(中島～本郷)には大型車も多く、渋滞によって円滑な物の流れに支障をきたしている。
- D. 国道8号(中島～本郷)の渋滞を避けるために市街地中心部へ入り込んだ車が渋滞を引き起こしている。
- E. 国道8号(中島～本郷)の渋滞により、富山市北西部から県立中央病院や富山市民病院への救急搬送にかかる時間が長くなり、救急活動に影響する恐れがある。
- F. 集中豪雨により神通川が氾濫した際、国道8号(田尻付近)の寸断等により、救援活動等への影響が懸念される。

問3 「問2」のA～Fうち、国道8号(中島～本郷)の整備により、特に解決すべきと思う課題を選んでください(いくつでも可)。
その他に課題がある場合は、「G.その他」に○をして内容をお書きください。

問4 「富山外郭環状道路(国道8号中島～本郷)」全体について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

アンケート票〔地域住民用〕

皆様のご意見をお聞かせください！

アンケートのお問い合わせ先

締め切り 2019年 6月30日(日) まで

■調査実施主体

国土交通省 北陸地方整備局
富山河川国道事務所 調査第二課
〒930-8537 富山市奥田新町2番1号
電話：076-443-4717（直通）
URL <http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama>

■調査協力自治体

富山県 土木部 道路課
電話：076-444-3319（直通）
富山市 建設部 建設政策課
電話：076-443-2091（直通）

問1 国道8号(対象区間)の道路利用について

該当する主なものを1つ選んで、番号に○をつけてください。「その他」を選択された方は()内に具体的な内容をお書きください。

A. 利用頻度	1. 週に5回以上 2. 週に3～4回 3. 週に1～2回 4. 月に1～2回 5. 年に数回 6. 利用したことがない(※問2へ)
B. 利用目的	1. 通勤・通学 2. 通院 3. 家事・買物 4. 仕事(営業・運送等) 5. 観光・レジャー 6. その他(※具体的な内容をお書きください)
C. 主な利用手段	1. 自動車 2. 公共交通(バス・タクシー) 3. バイク 4. 自転車 5. 徒歩

問2 地域の課題(案)について

将来を見据えた地域の課題(案)(下記A～F)について、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価してください。
下記A～F以外に、あなたが課題だと思うことがあれば、ご自由にお書きください。

A. 国道8号(中島～本郷)は、朝夕を中心に渋滞が発生していて、目的地に到着するまでに時間がかかる。
B. 国道8号(中島～本郷)は、交通事故が発生しやすい、非常に危険である。
C. 国道8号(中島～本郷)には、大型車も多く、渋滞によって円滑な物の流れに支障をきたしている。
D. 国道8号(中島～本郷)の渋滞を避けるために市街地中心部へ入り込んだ車が渋滞を引き起こしている。
E. 国道8号(中島～本郷)の渋滞により、富山市北西部から県立中央病院や富山市民病院への救急搬送にかかる時間が長くなり、救急活動に影響する恐れがある。
F. 集中豪雨により神通川が氾濫した際、国道8号の寸断等により、救援活動等への影響が懸念される。

問3 特に解決すべきと思う課題について

「問2」のA～Fのうち、国道8号(中島～本郷)の整備により、特に解決すべきと思う課題を選んでください。(いくつでも可)。その他に課題がある場合は「G. その他」に○をして内容をお書きください。

問4 その他

対象区間全体について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

※キトリ線

「富山外郭環状道路 一般国道8号 富山市中島～本郷」アンケート解答欄

問1 国道8号(対象区間)の道路利用について(該当する番号に○)

A 1. 週に5回以上 2. 週に3～4回 3. 週に1～2回
4. 月に1～2回 5. 年に数回 6. 利用したことがない(問2へ)

B 1. 通勤・通学 2. 通院 3. 家事・買物 4. 仕事(営業・運送等)
5. 観光・レジャー 6. その他()

C 1. 自動車 2. 公共交通(バス・タクシー) 3. バイク
4. 自転車 5. 徒歩

問2 地域の課題(案)について(該当する番号に○)

項目	そう 思う	どちらか といえば そう思う	どちらとも いえない	どちらか といえば 思わない	そう 思わない
A 国道8号の交通渋滞	1	2	3	4	5
B 多発する交通事故	1	2	3	4	5
C 円滑な物流への支障	1	2	3	4	5
D 他道路などへの影響	1	2	3	4	5
E 救急搬送への障害	1	2	3	4	5
F 洪水時の救援活動への障害	1	2	3	4	5

上記A～F以外で課題があれば、ご自由にお書きください。

問3 特に解決すべきと思う課題について(いくつでも可)

項目	解決すべき 課題に○	項目	解決すべき 課題に○	項目	解決すべき 課題に○
A		C		E	
B		D		F	

G(その他)

問4 その他

対象区間全体について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

アンケート票〔事業者等用〕

皆様のご意見をお聞かせください！

アンケートのお問い合わせ先

締め切り 2019年 6月30日(日) まで

■調査実施主体

国土交通省 北陸地方整備局
富山河川国道事務所 調査第二課
〒930-8537 富山市奥田新町2番1号
電話：076-443-4717（直通）
URL <http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama>

■調査協力自治体

富山県 土木部 道路課
電話：076-444-3319（直通）
富山市 建設部 建設政策課
電話：076-443-2091（直通）

問1 国道8号(対象区間)の道路利用について

該当する主なものを1つ選んで、番号に○をつけてください。「その他」を選択された方は()内に具体的な内容をお書きください。

A. 利用頻度	1. 週に5回以上 2. 週に3～4回 3. 週に1～2回 4. 月に1～2回 5. 年に数回 6. 利用したことがない(※問2へ)
B. 利用目的	1. 営業 2. 運送・運搬 3. 送迎 4. 旅客 5. 利用しない 6. その他(※具体的な内容をお書きください)

問2 地域の課題(案)について

将来を見据えた地域の課題(案)(下記A～F)について、「そう思う」～「そう思わない」の5段階で評価してください。
下記A～F以外に、あなたが課題だと思うことがあれば、ご自由にお書きください。

A. 国道8号(中島～本郷)は、朝夕を中心に渋滞が発生していて、目的地に到着するまでに時間がかかる。
B. 国道8号(中島～本郷)は、交通事故が発生しやすい、非常に危険である。
C. 国道8号(中島～本郷)には、大型車も多く、渋滞によって円滑な物の流れに支障をきたしている。
D. 国道8号(中島～本郷)の渋滞を避けるために市街地中心部へ入り込んだ車が渋滞を引き起こしている。
E. 国道8号(中島～本郷)の渋滞により、富山市北西部から県立中央病院や富山市民病院への救急搬送にかかる時間が長くなり、救急活動に影響する恐れがある。
F. 集中豪雨により神通川が氾濫した際、国道8号の寸断等により、救援活動等への影響が懸念される。

問3 特に解決すべきと思う課題について

「問2」のA～Fのうち、国道8号(中島～本郷)の整備により、特に解決すべきと思う課題を選んでください。(いくつでも可)。その他に課題がある場合は「G. その他」に○をして内容をお書きください。

問4 その他

対象区間全体について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

※キトリ線

「富山外郭環状道路 一般国道8号 富山市中島～本郷」アンケート解答欄

問1 国道8号(対象区間)の道路利用について(該当する番号に○)

A 1. 週に5回以上 2. 週に3～4回 3. 週に1～2回
4. 月に1～2回 5. 年に数回 6. 利用したことがない(問2へ)

B 1. 営業 2. 運送・運搬 3. 送迎 4. 旅客 5. 利用しない
6. その他()

問2 地域の課題(案)について(該当する番号に○)

項目	そう 思う	どちらか といえば そう思う	どちらとも いえない	どちらか といえば 思わない	そう 思わない
A 国道8号の交通渋滞	1	2	3	4	5
B 多発する交通事故	1	2	3	4	5
C 円滑な物流への支障	1	2	3	4	5
D 他道路などへの影響	1	2	3	4	5
E 救急搬送への障害	1	2	3	4	5
F 洪水時の救援活動への障害	1	2	3	4	5

上記A～F以外で課題があれば、ご自由にお書きください。

問3 特に解決すべきと思う課題について(いくつでも可)

項目	解決すべき 課題に○	項目	解決すべき 課題に○	項目	解決すべき 課題に○
A		C		E	
B		D		F	

G(その他)

問4 その他

対象区間全体について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

- ①ホームページ : 富山河川国道事務所、富山県、富山市ほかのホームページにバナーを掲載した。
- ②広報誌 : 富山市の市報に広報記事を掲載した。
- ③新聞広告 : 県内新聞販売の主要3紙(北日本新聞、読売新聞、富山新聞)に広告を掲載した。
- ④ポスター・チラシ : 富山河川国道事務所、富山県、富山市ほか県内の行政機関、道の駅及び高速道路SA・PAにおいてポスターを掲示した。
- ⑤リーフレット : 行政機関、道の駅及び高速道路SA・PAにおいてリーフレットを配置した。

①ホームページ

◆富山河川国道事務所・富山県・富山市ほかにもバナー等を掲載



広報ページへ移動



②広報誌

(広報とやま)



③新聞広告

(北日本新聞)



④ポスター・チラシ ⑤リーフレット

(富山市役所)



道づくりに関するアンケート

一般国道8号(中島～本郷)の道路整備の計画を検討するにあたり、アンケート調査を実施します。回答にご協力をお願いします。

期間 6月30日(日)まで
※アンケート調査の詳細は、国土交通省ホームページ(<http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama>)を確認してください。

問富山河川国道事務所 ☎443-4717
問建設政策課 ☎443-2091

- アンケート調査は、1,050部の回答票を得た。
- ヒアリング調査は、計25団体に実施した。

■ アンケート調査による意見聴取

調査対象		調査方法	配布回収数		
			配布数	回収数	回収率
地域住民	沿線住民	市報による配布・郵送回収	1,800部	459部	8.5%
	周辺住民	留置アンケート	1,650部		
	一般市民	Webアンケート	496人※	335人	
事業者	製造業等	会報等による配布・郵送回収	8,895部	256部	
	運送業				
合計			—	1,050部	

※専用ページの閲覧人数

■ ヒアリング調査による意見聴取

調査対象		実施状況
関係団体	交通事業者	1団体
	消防機関	1団体
	事業者	11団体
	警察機関	1団体
	地方自治体	2団体
	教育機関	9団体
	計	25団体

【参考】日常交通の実態調査におけるサンプル数の設定

日常交通の実態調査におけるサンプル数の設定は、標本調査の設定式(以下の公式)を用いて検討されていることが多い。評価対象区間を利用する交通(50,160台/日(H27):母集団)に対して必要とされるサンプル数は約400である。

$$n = \frac{N}{\left(\frac{\varepsilon}{K(\alpha)}\right)^2 \frac{N-1}{P(1-P)} + 1}$$

α : 母集団特性値の推定を誤る確率 (通常 5%がよく用いられる)

$K(\alpha)$: 正規分布の性質から与えられる値 ($\alpha = 5\%$ のとき、 $K(\alpha) = 1.96$)

ε : 許容できるサンプリングの誤差

P : 母比率 (一般的には、事前に想定できないことから、最も必要サンプル数が多くなる「0.5」を用いることが多い。)

N : 母集団の大きさ

n : 必要とされるサンプル数

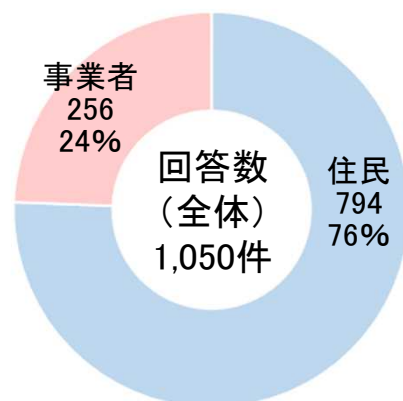
出典: 都市・地域総合交通戦略及び特定の交通課題に対応した
都市交通計画検討のための実態調査・分析の手引き(P60)

(1) アンケート調査

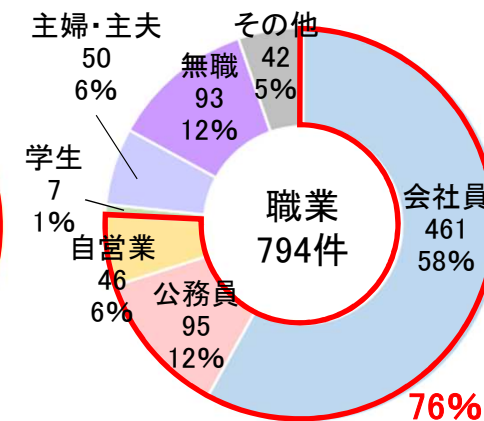
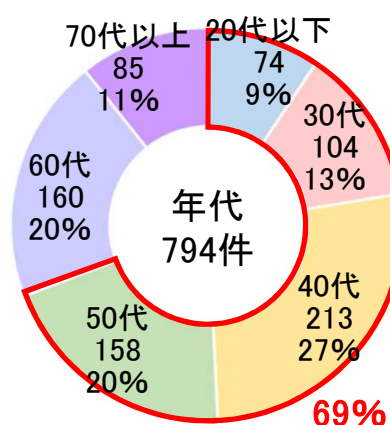
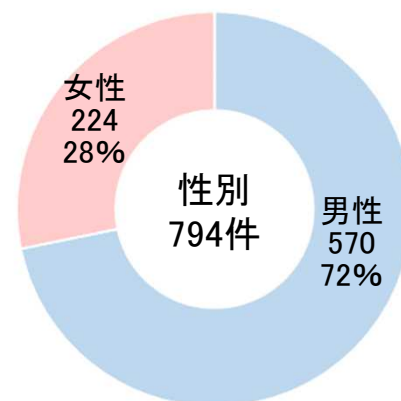
1) 回答者の属性

- 回答者の性別は男性が約7割、年代は50代以下が約7割、職業は会社員・公務員・自営業で約8割を占める。
- 回答者のうち、富山市内在住の方々からの回答が約6割を占める。
- 事業者アンケートの業種は、運輸業が約4割と最も多く、次いで建設・製造業が約3割を占める。

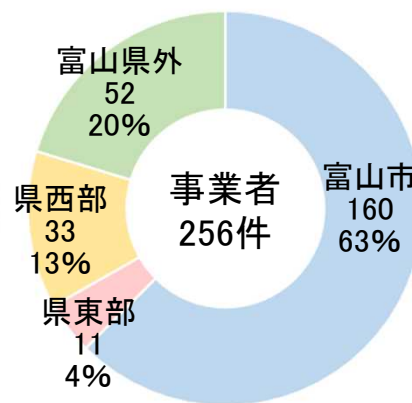
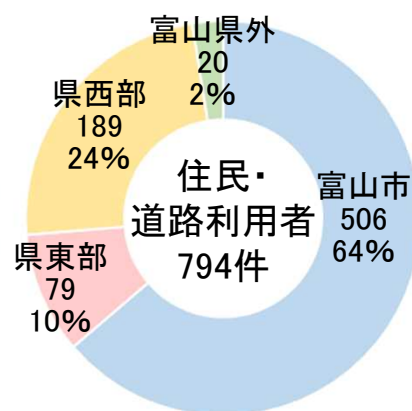
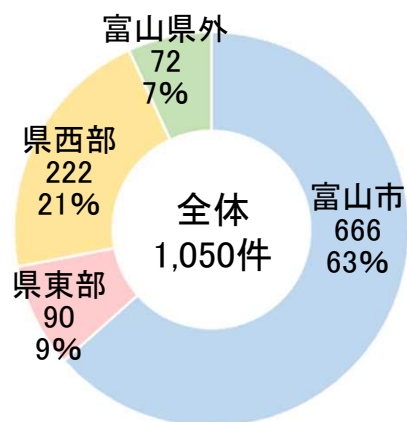
■ アンケートの回収状況



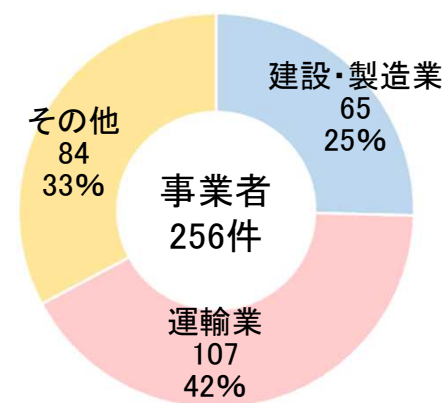
■ 住民・道路利用者の個人属性(性別、年齢、職業)



■ 回答者の住所



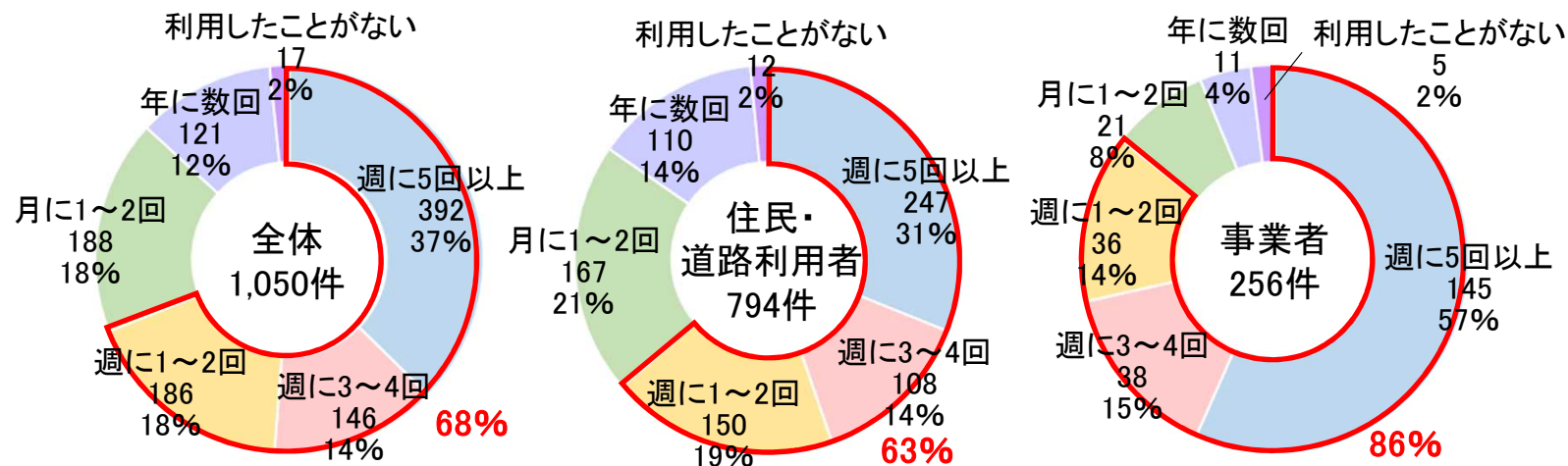
■ 事業者の業種



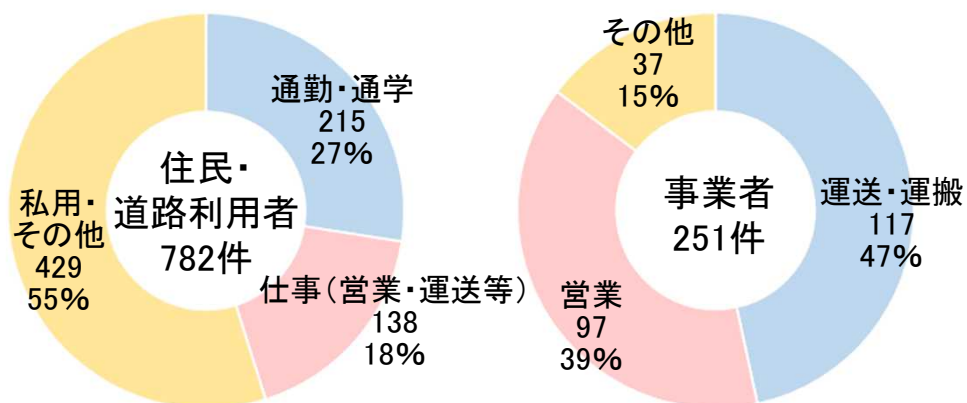
2) 国道8号(対象区間)の道路利用【問1】

- 回答者のうち、対象区間(中島～本郷)の利用頻度は週1～2回以上が約7割を占める。
- 住民・道路利用者の利用目的は、「私用・その他」が約5割と最も多く、次いで「通勤・通学」が約3割と多い。
- 事業者の利用目的は、「運送・運搬」が約5割と最も多く、次いで「営業」が約4割と多い。

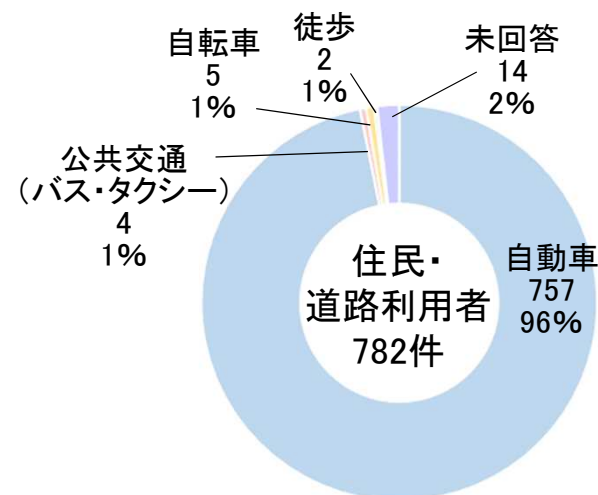
■ 対象区間の利用頻度【問1.A】



■ 対象区間の利用目的【問1.B】



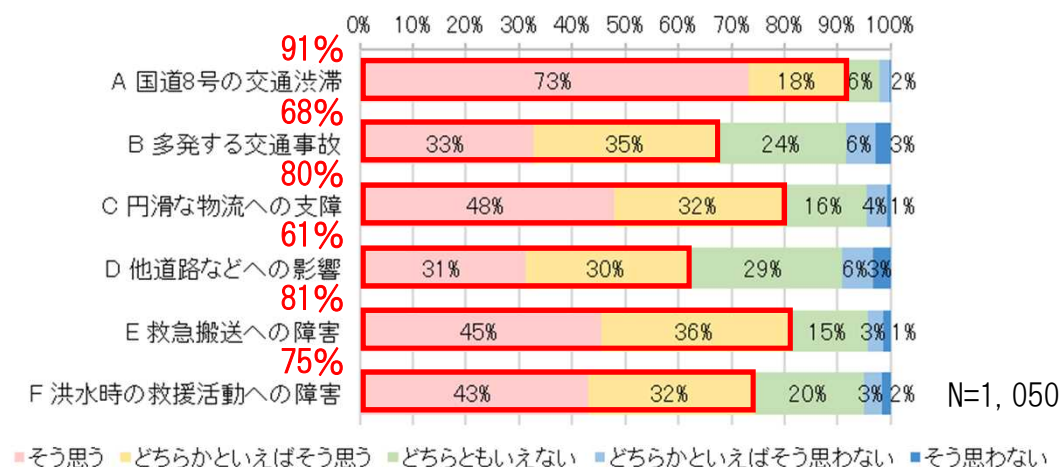
■ 対象区間の利用手段【問1.C】



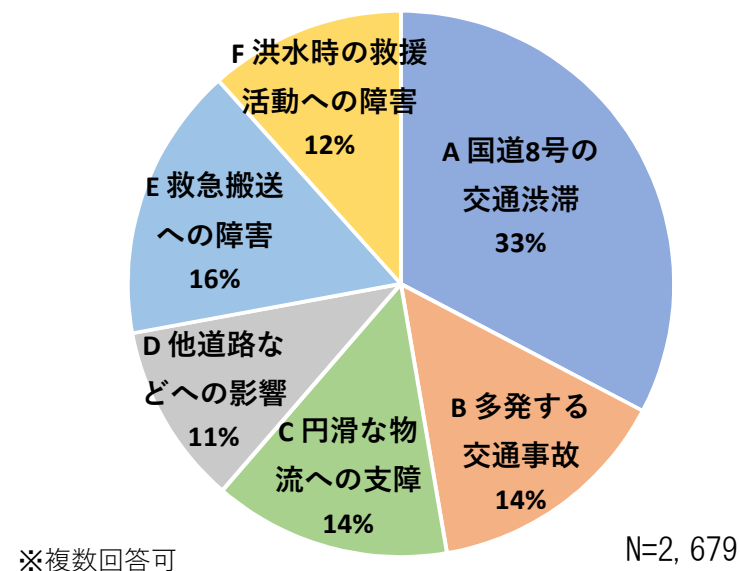
3) 地域の課題(案)の評価等【問2～4】

- 提示した6つの地域の課題(案)全てにおいて、回答者の6割以上が課題であると回答された。
- 特に解決すべき課題は、6つの課題(案)のうちA.国道8号の交通渋滞が約3割と比較的多い。
- 対象区間に対する自由意見として、地域の課題(案)に関する意見、その他の意見が寄せられた。

■ 提示した6つの地域の課題(案)の評価【問2】



■ 地域の課題(案)の中で特に解決すべき課題の回答割合【問3】



■ 対象区間に対する自由意見【問4】

地域課題(案)に関する主な意見

- A 朝や夕方でもそうだが、慢性的に渋滞が発生している区間である。
- B 交通事故による渋滞が頻繁に起きて困っている。
- C 国道8号と北陸自動車道を結ぶ道路のアクセスが悪い。
- D 国道8号に並行する有沢線や交差する環状線の渋滞対策もしてほしい。
- E 救急車が渋滞の中を思うように通過できない状況を見たことがある。
- F 現状のままでは水害時の道路の寸断が心配される。

その他の主な意見

- 国道8号の立体化を優先的に、なるべく早く整備されることを期待します。
- 自動車の騒音がうるさいので、防音壁など建ててほしい。
- この区間の工事は将来を考え、環境・景観に配慮して下さい。
- お金をかけて道路を整備すれば渋滞は解消されると思いますが、それだけの予算をかけるだけの価値があるのか疑問です。

- 提示した6つの地域の課題(案)全てにおいて、回答者の半数以上が課題であると回答された。
- 特に解決すべき課題は、6つの課題(案)のうちA.国道8号の交通渋滞、F.洪水時の救援活動への障害が比較的多い。
- 対象区間に対する主な意見として、地域の課題(案)に関する意見が寄せられた。

A 朝のラッシュ時は、市街地の通過に時間を要するため、できるだけ避けて出発している。

B 交差点間距離の短いところは、危ないと感じている。

C 国道8号の渋滞は到着時間が想定できないなど、円滑な物流に支障をきたしていると思われる。

D 平行する（主）富山高岡線はいつも混雑しているため利用を避けている。

E 国道8号の混雑時において、緊急車両が通行しにくくなっているのは問題と思われる。

F 輸送経路として国道8号の代替路がないため、常時利用できるようにしてもらいたい。

3. 政策目標の設定

● アンケート・ヒアリングの調査結果から、前回(案)であった政策目標を、今回の政策目標として設定する。

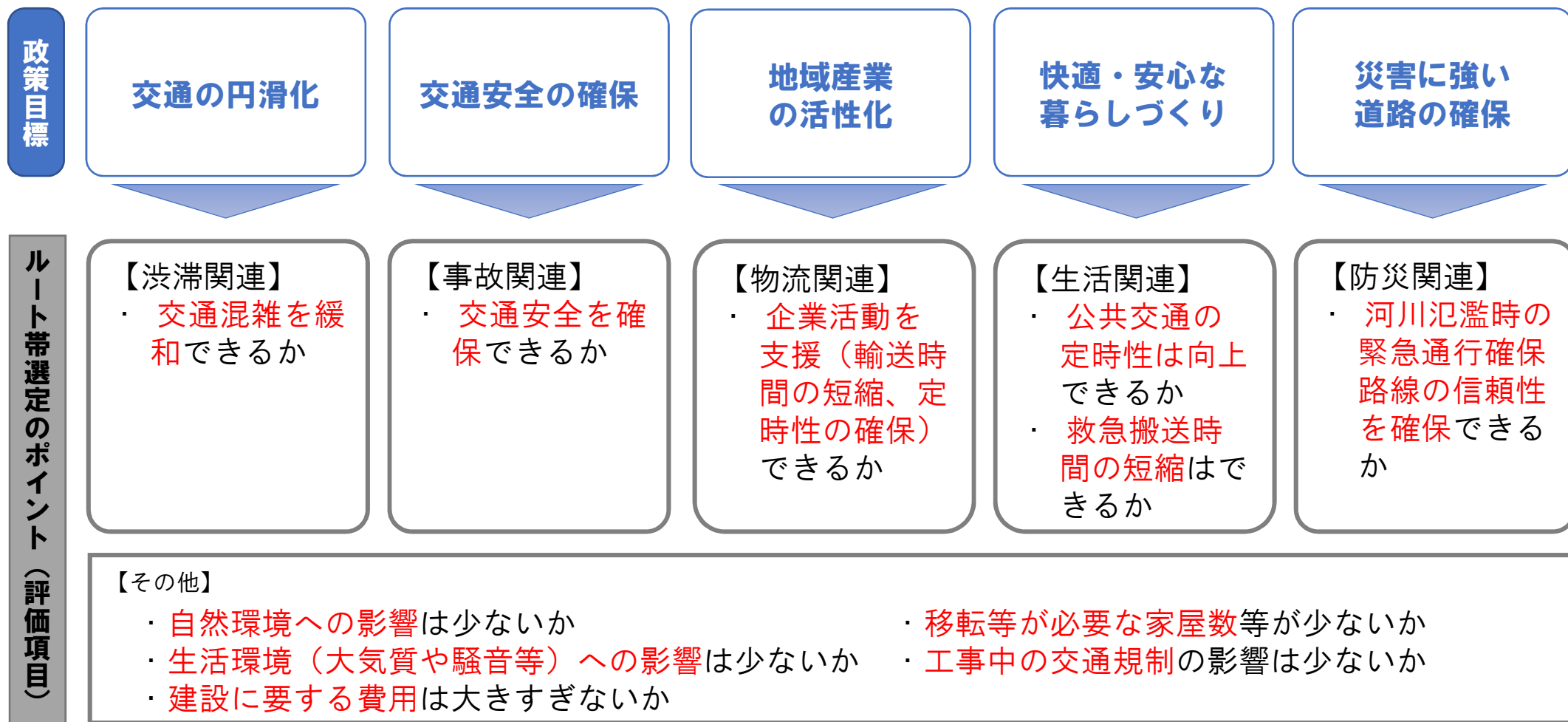
視 点		課 題	住民や事業者への意見聴取結果	政策目標
道路交通	渋 滞	○慢性的な渋滞 ⇒対象区間の全ての平面交差点が主要渋滞箇所 ⇒田尻交差点が渋滞損失時間県内ワースト1位	●約9割が課題と認識 ⇒慢性的な渋滞に伴い、交通の円滑性が低下していることを確認	交通の円滑化
	事 故	○交通事故が多発 ⇒対象区間のほとんどの交差点が事故危険区間 ⇒田尻交差点が死傷事故件数県内ワースト1位	●約6～7割が課題と認識 ⇒事故の多発に伴い、交通の安全性が低下していることを確認	交通安全の確保
地域	物 流	○製造業への影響 ⇒大型車や港湾関連車両が集中し、対象区間の物流の円滑性が阻害	●約8割が課題と認識 ⇒交通の集中に伴い、物流の円滑性が損なわれ、地域産業への支援が不十分であることを確認	地域産業の活性化
	まちづくり	○公共交通への影響 ⇒市中心部における幹線バス路線の速度低下が顕著	●約6割が課題と認識 ⇒対象区間の渋滞を避けるために、市街地に流入する車が渋滞を引き起こし、路線バスの円滑な運行を阻害していることを確認	快適・安心な暮らしづくり
	医 療	○救急搬送活動への支障 ⇒救急搬送時間が県内平均値よりも長く、増加傾向であり、救命率の低下が懸念	●約8割が課題と認識 ⇒対象区間の渋滞により、救急搬送にかかる時間が長くなり、救急搬送活動への影響が懸念されることを確認	
防災	水 害	○河川氾濫等による被害 ⇒洪水発生時には、広範囲な浸水により緊急通行確保路線の寸断が懸念	●約7～8割が課題と認識 ⇒洪水発生時の広範囲な浸水に伴う、緊急通行確保路線の信頼性が低いことを確認	災害に強い道路の確保

4. 対応方針(ルート帯案)の検討

- 政策目標、考慮すべき箇所(コントロールポイント)や配慮すべき事項(ルート帯選定のポイント)を踏まえ、政策目標を達成するための対応方針(ルート帯案)を検討する。

■ 対応方針(ルート帯案)の考え方

※赤字:評価項目(案)



- ルート帯を検討する上での主なコントロールポイントとして、社会的状況、自然的状況に配慮する。

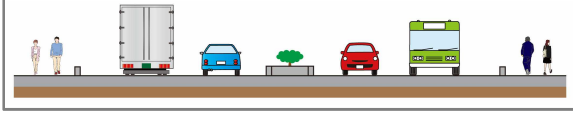
■ 主なコントロールポイント



コントロールポイント	社会的状況による要因	学校(高校、中学校、小学校、幼稚園、保育園)、主要施設(役所、鉄道施設、電力施設、主要商業施設)、神社仏閣、集落(住宅団地)
	自然的状況による要因	河川氾濫浸水域

凡 例			
	一般国道		鉄道施設
	補助国道		電力施設 (変電所)
	主要地方道		電力施設 (鉄塔)
	一般県道		電力施設 (送電線)
	小学校・中学校・高校		主要商業施設 (第二種大規模小売店以上)
	幼稚園		神社仏閣 (神社)
	保育園		神社仏閣 (寺院)
	役所 (地区センター)		神社仏閣 (墓地)
	河川氾濫浸水域		集落 (住宅団地)

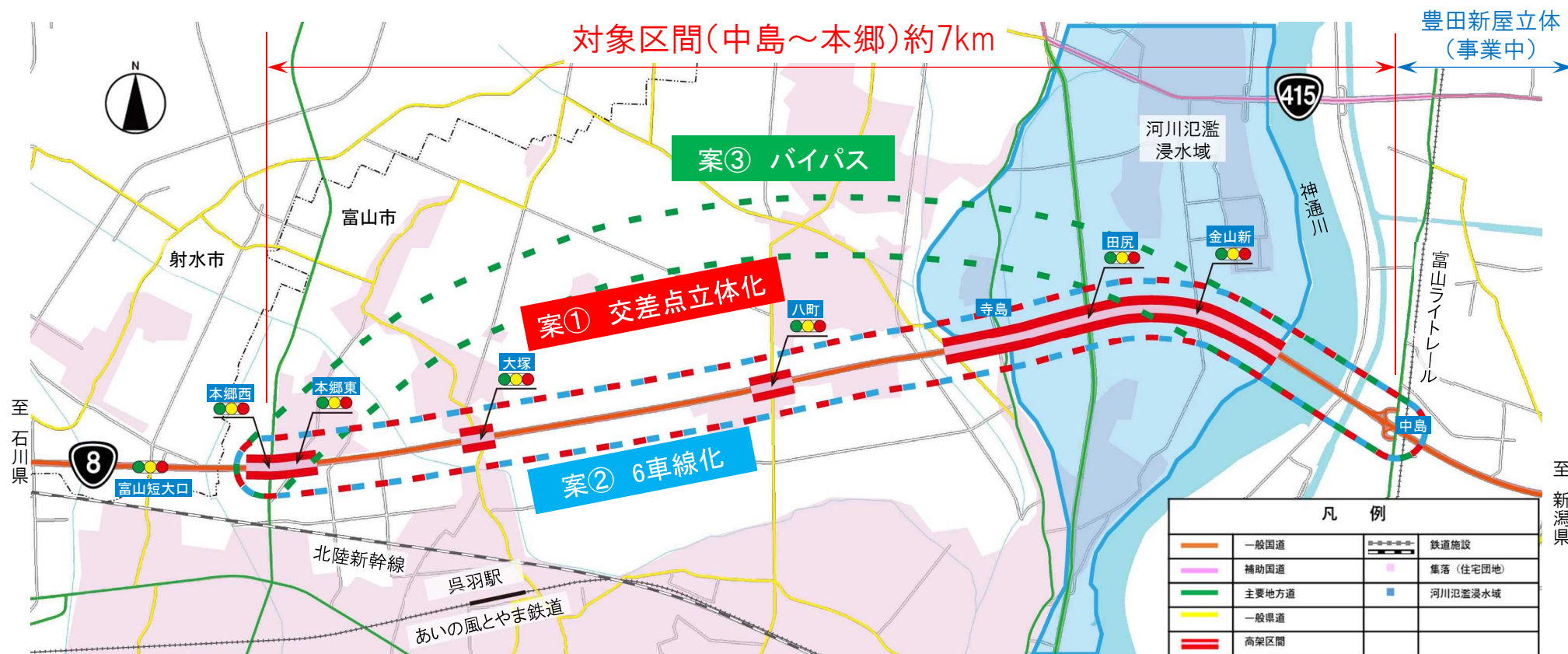
【国道8号現況】



※コントロールポイントとは、道路の利便性を考慮して通過すべき地点や、社会的影響が大きく回避すべき建物等

- 主なコントロールポイント等を踏まえて、比較3ルートを設定する。

■ ルート帯案(比較3ルート)



比較案	案① 交差点立体化	案② 現道拡幅(6車線化)	案③ バイパス
概要	立体化により交通課題(渋滞、事故)の集中する交差点を回避する案	現道(4車線)を6車線に拡幅し、交通容量を拡大する案	交通課題(渋滞、事故)の集中する箇所を回避する全線バイパス案
整備イメージ			

(1) 案① 交差点立体化

- 交通課題(渋滞、事故)の集中する交差点を回避する交差点立体化案である。

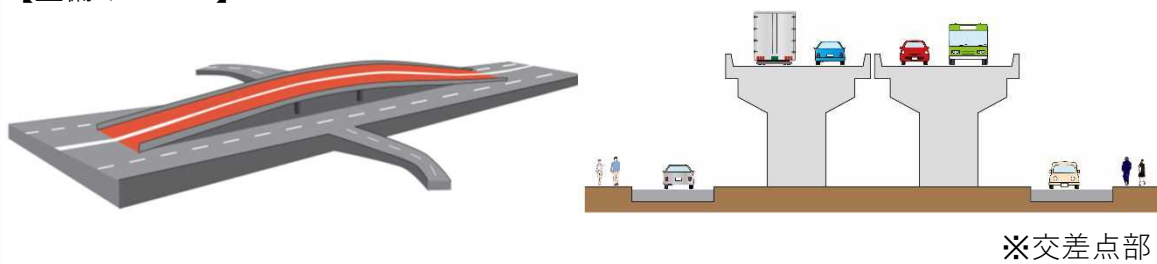
■ルート帯案【案① 交差点立体化】



■整備概要

延長 約7.5km コスト 約400～450億円

【整備イメージ】



■ポイント

内 容

- ・ 交差点の立体化により、**渋滞が緩和**。
- ・ 渋滞に起因する**交通事故が大幅に減少**。
- ・ 信号交差点を通過しないため、**輸送時間を短縮でき、移動に必要な時間を想定しやすい**。
- ・ 高架・盛土構造により、**河川氾濫時においても緊急通行確保路線の確保が可能**。
- ・ 交差点前後区間のみの整備のため、**自然環境への影響は小さい**。
- ・ 交差点前後区間の工事のため、**交通規制が多い**。

※青字:メリット、赤字:デメリット

(2) 案② 6車線化

- 現在の道路(現道)を4車線から6車線に拡幅し、交通容量を拡大する案である。

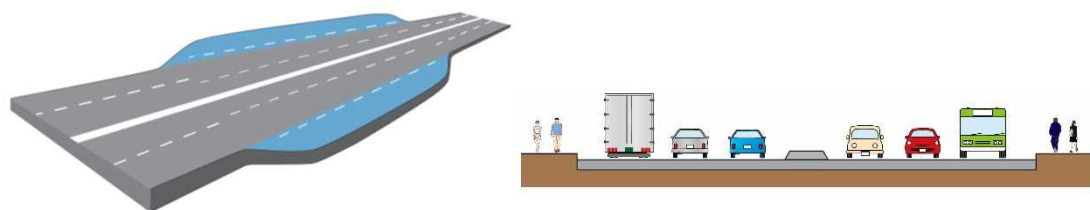
■ルート帯案【案② 6車線化】



■整備概要

延長 約7.2km コスト 約200～250億円

【整備イメージ】



■ポイント

※青字:メリット、赤字:デメリット

内 容

- ・走行車線が増えるが、信号交差点が残るため、**渋滞緩和の効果は小さい。**
- ・信号交差点が残るため、**交通事故減少の効果はない。**
- ・信号交差点が残るため、**輸送時間を短縮できず、移動に必要な時間を想定できない。**
- ・平面構造のため、**河川氾濫時において緊急通行確保路線を確保できない。**
- ・現道を拡幅するため、**自然環境への影響は小さい。**
- ・現道を工事するため、**交通規制が最も多い。**

(3) 案③ バイパス

- 交通課題(渋滞、事故)の集中する箇所をまとめて回避する全線バイパス案である。

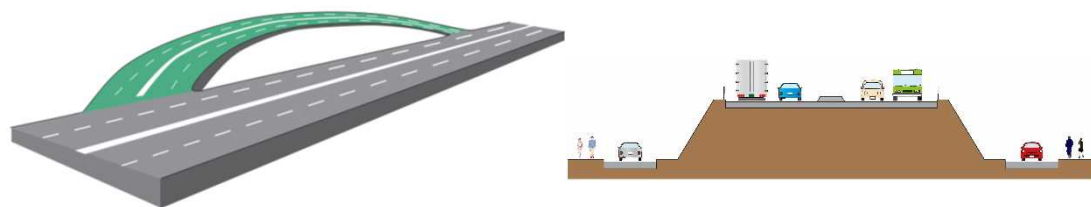
■ルート帯案【案③ バイパス】



■整備概要

延長 約8.8km コスト 約700～750億円

【整備イメージ】

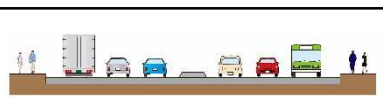
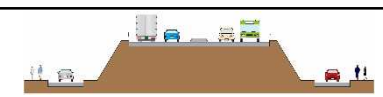


■ポイント

内 容

- ・バイパスへ交通が転換し、**渋滞が大幅に緩和**。
- ・渋滞に起因する**交通事故が減少**。
- ・信号交差点を通過しないため、**輸送時間を短縮でき、移動に必要な時間を想定しやすい**。
- ・盛土構造により、**河川氾濫時においても緊急通行確保路線の確保が可能**。
- ・新たに道路を整備するため、**自然環境への影響は大きい**。
- ・新たに道路を整備するため、**交通規制は少ない**。

●各ルート帯案(対策案)の各評価項目における整備効果等を整理した。

国道8号(中島～本郷)のルート帯案							
凡 例				※青字:メリット、赤字:デメリット			
評価軸 対策案				【案①】交差点立体化	【案②】6車線化	【案③】バイパス	
概要				交通課題が顕在する交差点を立体化	現在の道路(以下、現道)を4車線から6車線に拡幅	現在の道路(以下、現道)とは別のバイパスを整備	
断面図				 ※交差点部			
政策目標	交通の円滑化	①	交通混雑を緩和	・ 交差点の立体化により、 渋滞が緩和	・ 走行車線が増えるが、信号交差点が残るため、 渋滞緩和の効果は小さい 。	・ バイパスへ交通が転換し、 渋滞が大幅に緩和	
	交通安全の確保	②	交通安全を確保	・ 渋滞に起因する 交通事故が大幅に減少	・ 信号交差点が残るため、 交通事故減少の効果はない	・ 渋滞に起因する 交通事故が減少	
	地域産業の活性化	③	企業活動(輸送時間の短縮、定時性の確保)を支援	・ 信号交差点を通過しないため、 輸送時間を短縮でき、移動に必要な時間を想定しやすい	・ 信号交差点が残るため、 輸送時間を短縮できず、移動に必要な時間を想定できない	・ 信号交差点を通過しないため、 輸送時間を短縮でき、移動に必要な時間を想定しやすい	
	快適・安心な暮らしづくり	④	公共交通の定時性向上	・ 国道8号への交通転換により、 バス路線の混雑緩和が期待できる	・ 信号交差点が残るため、交通転換による バス路線の混雑緩和は期待できない	・ 国道8号への交通転換により、 バス路線の混雑緩和が期待できる	
		⑤	救急車の搬送時間短縮	・ 信号交差点を通過しないため、 搬送時間が短縮	・ 信号交差点が残るため、 搬送時間を短縮できない	・ 搬送距離が延びるため、 搬送時間を短縮できない	
	災害に強い道路の確保	⑥	河川氾濫時の緊急通行確保路線の確保	・ 高架・盛土構造により、 河川氾濫時においても緊急通行確保路線の確保が可能	・ 平面構造のため、 河川氾濫時においても緊急通行確保路線の確保できない	・ 盛土構造により、 河川氾濫時においても緊急通行確保路線の確保が可能	
配慮すべき点	環境等への影響	⑦	自然環境への影響	・ 交差点前後区間の整備のため、 影響は小さい	・ 現道を拡幅するため、 影響は小さい	・ 新たに道路を整備するため、 影響は大きい	
	生活への影響	⑧	移転等が必要な家屋数	・ 少ない	・ 少ない	・ 多い	
		⑨	生活環境(大気・騒音等)への影響	・ 渋滞の緩和に伴い、 現道沿線の大気・騒音等の改善が期待される	・ 信号交差点が残るため、 現道沿線的生活環境(大気・騒音等)の改善は期待できない	・ 交通がバイパスに転換するため、 バイパス沿線的生活環境(大気・騒音等)への影響が大きい	
	工事の影響	⑩	工事中の交通規制	・ 交差点前後区間で工事するため、 交通規制が多い	・ 現道を工事するため、 交通規制が最も多い	・ 新たに道路を整備するため、 交通規制は少ない	
建設費				⑪ 建設費用	・ 約400～450億円	・ 約200～250億円	・ 約700～750億円

5. 第2回意見聴取方法について

- 第1回意見聴取結果における課題と想定される要因を踏まえ、調査方法の改善案を検討した。

第1回意見聴取結果における課題	想定される要因と調査方法の改善案	
A.事業者アンケートの回収率が低い。	想定要因	① 物流等に関係の無い会社も含め幅広く配布したため、興味を持たれない社も多かった。 ② アンケート票に事業所名・従業員数の回答欄があり、回答を控えられた。
	改善案	① 製造業、運輸業など、物流等の関連業種に絞って、調査協力を行う。 ② 無記名回答とする。
B.アンケート回答者の男女比率が偏っている。	想定要因	① 各家庭においては世帯主が回答されるケースが多かった。
	改善案	① 引き続き、関係団体(富山県婦人会)へ調査協力を依頼する。

- (1)実施目的:求められる道路機能に関する意見を収集
- (2)調査主体:国土交通省北陸地方整備局 富山河川国道事務所
- (3)周知方法:①ホームページ(バナー)、②新聞広告、③チラシ、④ポスター
- (4)配布方法:①市報・会報配布、②市役所・町村役場・道の駅・高速道路SA・PA等へのアンケートの留置、③HP上でのWebアンケート
- (5)回収方法:①郵送回収、②HP上での回答
- (6)意見聴取期間:1ヶ月程度
- (7)意見聴取の対象(案)

①アンケート調査

項目		調査対象	調査方法
地域住民	沿線住民	(対象区間に隣接する町内会の住民)	全戸配布(約1,800世帯)※1
	周辺住民	(富山県内全市町村の住民)	留置アンケート(富山県庁、富山県内全市町村の市役所・町村役場(本庁舎)、道の駅、高速道路SA・PA※2) 関係団体(富山県婦人会)へ配布
	一般市民	(広く一般の人々)	Webアンケート※3
事業者	製造業等	(富山商工会議所、富山市北商工会)	会員企業へ配布・郵送(約6,700社)※4
	運送業	(富山県トラック協会、新潟県トラック協会、石川県トラック協会)	

②ヒアリング調査

項目	調査対象	
交通事業者	(バス会社)	2団体
消防機関	(富山市消防局)	1団体
事業者	(富山商工会議所、富山県トラック協会、主要企業)	11団体
警察機関	(富山県警察本部)	1団体
地方自治体	(富山県、富山市)	2団体
教育機関	(小学校、中学校)	9団体

■アンケート配布範囲



※1：世帯数：住民基本台帳（H31.3末）

※2：道の駅：カモンパーク新湊、万葉の里高岡、メルヘンおやべ、越後市振の関の計4箇所

高速道路SA・PA：不動寺PA上り下り、小矢部川SA上り下り、呉羽PA 上り下り、有磯海SA上り下り、城端SAの計9箇所

※3：事務所ホームページに設置、県市町村のホームページにリンクバナーを掲載

※4：富山商工会議所の会員数約3,400社、富山市北商工会の会員数約1,250社、富山県トラック協会の正会員数約600社、新潟県トラック協会の正会員数約800社、石川県トラック協会の正会員数約650社

■ホームページ(素案)

【富山河川国道事務所】



【富山県・富山市他(バナー掲載)】



■新聞広告(素案)

国道8号のアンケートにご協力ください!

みなさんの声をみちづくりに反映していきます!!

アンケートへの回答は、下のいずれかをお願いします。

ハガキ

富山河川国道事務所、県庁、県内の市町村役場、国道8号沿線の道の駅、北陸自動車道の一部のSA・PAにあるアンケート票をご利用ください。

Webサイト

富山河川国道事務所ホームページへアクセス。
・携帯、スマホからはQRコードからもアクセスできます。

Webでも回答できます!

締め切り 2019年0月00日(日)まで

位置図

対象区間: 富山市 中島～本郷

- 国道8号の利用状況
- 対策案(ルート帯案)
- 対策案検討時の留意事項

〒930-8537 富山市奥田新町2番1号 ☎ 076-443-4717 (直通)
URL: <http://www.hrr.mlt.go.jp/toyama>

■チラシ(A4判)／ポスター(A2判)(素案)

「ご意見募集中」 ～ご協力をお願いします～

実施中

とやま がいかくかんじょうどうろ

富山外郭環状道路 一般国道8号(富山市中島～本郷)

とやま なかじま ほんごう

みちづくりに関するアンケート調査

本アンケート調査は、地域のみなさまや道路利用者の方のご意見を道路計画に反映するためのものです。
富山外郭環状道路の北側を構成する一般国道8号(富山市中島～本郷)の対応方針(案)(概略ルート・構造等)を検討する際に、どのような事項を重視、配慮して検討すべきか、ご意見をお聞かせください。

締め切り 2019年 00月00日(日)まで

アンケート回答方法

返信用ハガキによる回答

◆国道8号(富山市中島～本郷)の沿線にお住まいの方
全戸配布していますので、ご記入後、お近くの郵便ポストに投函してください。

◆その他の地域にお住まいの方
富山河川国道事務所、富山県庁、県内の市町村の役所・役場、国道8号沿線の道の駅、北陸自動車道の一部のSA・PAにあるアンケート票をご利用ください。

インターネットによる回答

富山河川国道事務所ホームページから、専用ホームページへアクセスし、アンケートにご回答ください。

◆検索サイトやスマートフォンから

「パレットとやま」で検索するか、下記のQRコードを読み、富山河川国道事務所のホームページへアクセスし、下記のバナーより、専用ホームページへアクセスしてください。

パレットとやま

◆関係機関のホームページから

富山河川国道事務所や富山県等のホームページへアクセスし、右記のバナーやお知らせ欄より、専用ホームページにアクセスしてください。

お問い合わせ先

■調査実施主体

国土交通省 北陸地方整備局
富山河川国道事務所 調査第二課

〒930-8537 富山市奥田新町2番1号
電話: 076-443-4717 (直通)
URL: <http://www.hrr.mlt.go.jp/toyama>

■調査協力自治体

富山県 土木部 道路課

〒930-8501 富山市新緑曲輪1番7号
電話: 076-443-3319 (直通)
URL: <http://www.pref.toyama.jp>

富山市 建設部 建設政策課

〒930-8510 富山市新桜町7番38号
電話: 076-443-2091 (直通)
URL: <http://www.city.toyama.toyama.jp>

位置図

凡例

- 事業中
- 未事業区間
- 対象区間
- 高速道路
- 一般国道(直轄管理区間)
- 一般国道(直轄管理区間外)
- 市町村境
- JR
- その他鉄道
- その他主要な道路

(1) 計画概要 / 第1回アンケート集計結果

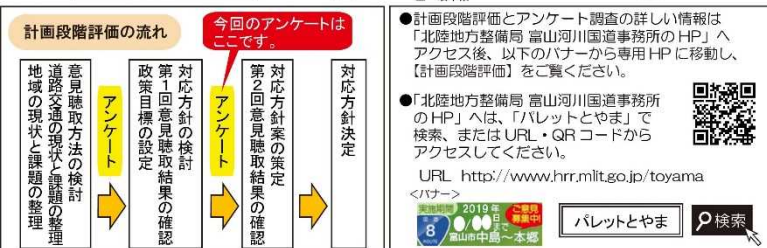
- アンケート回答に際し、対象区間の課題について理解を深めてもらうためのツールとしてリーフレットを追加する。
- 本調査の主旨、第2回アンケートの概要、調査対象箇所について説明する。
- 第1回アンケートの集計結果を説明するとともに、行政や業界に行ったヒアリング結果も説明する。

■ 計画概要

本アンケートは、国道8号（富山市中島～本郷）の道路整備の計画検討にあたり、計画づくりの初期段階から、地域の皆様へ情報提供を行うとともに、広くご意見をお聴きし、それを計画に反映していくための取り組みとして実施するものです。

調査結果は、集計・とりまとめ後、国土交通省 北陸地方整備局 富山河川国道事務所のホームページ等で掲載する予定です。調査結果は統計的に処理し、個人の意見等が特定されることはありません。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、調査の主旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。



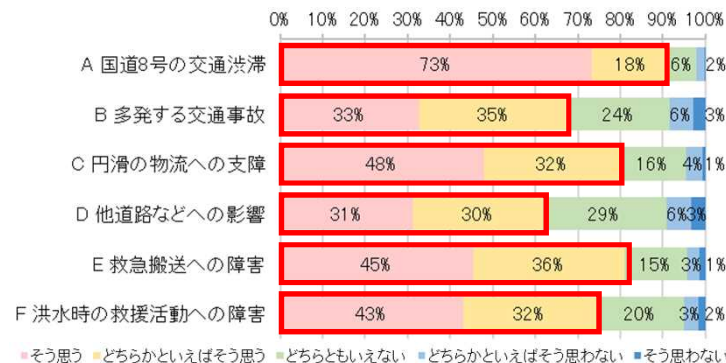
■ 第1回アンケート調査結果

◆ アンケート調査

調査対象	調査方法	配布・回収数	
		配布数	回収数
地域住民	沿線住民	市報による配布・郵送回収	1,800
	周辺住民	留置アンケート・郵送回収	1,650
	一般市民	Webアンケート	496※
事業者	製造業等	会報等による配布・郵送回収	8,895
	運送業	会報等による配布・郵送回収	256
合計		—	1,050

※専用ページの閲覧人数

■ 提示した6つの地域の課題(案)の評価【問2】



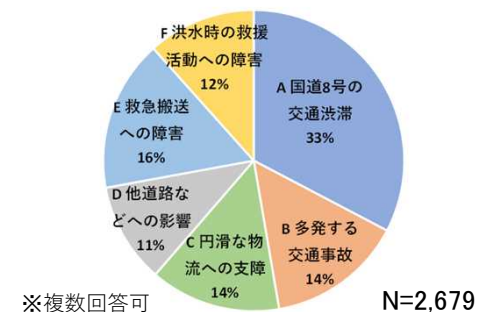
■ その他の主な意見

- ・ 国道8号の立体化を優先的に、なるべく早く整備されることを期待します。
- ・ 自動車の騒音がうるさいので、防音壁など建ててほしい。
- ・ この区間の工事は将来を考え、環境・景観に配慮して下さい。
- ・ お金をかけて道路を整備すれば渋滞は解消されると思いますが、それだけの予算をかけるだけの価値があるのか疑問です。

◆ ヒアリング調査

調査対象		実施状況
関係団体	交通事業者	2団体
	消防機関	1団体
	事業者	11団体
	警察機関	1団体
	地方自治体	2団体
	教育機関	9団体
計		26団体

■ 地域の課題(案)の中で特に解決すべき課題の回答割合【問3】



(2) 政策目標

●地域の課題を踏まえて設定した整備の目標(政策目標)を説明する。

■政策目標

1 朝夕ピーク時を中心に渋滞

- 国道8号中島～本郷(以下、対象区間)の交通量は、県内国道8号平均の2倍以上と多く、朝夕ピーク時を中心に渋滞しています。
- 対象区間の渋滞により、目的地に到着するまでに時間がかかっています。



(本郷東交差点) (田尻交差点)

【通勤時の渋滞状況】

2 交通事故が多発

- 対象区間にある交差点は、県内有数の交通事故多発箇所となっています。



資料：交通事故総合分析センター (H25～H28)

【県内交差点事故件数】

3 円滑な物の流れに支障

- 対象区間は、大型車混入率が県内平均の2倍以上と高い区間です。
- 伏木富山港(富山地区)に発着し、高速道路を利用する商用車の7割が対象区間を利用しています。
- 対象区間は大型車や港湾関連車両の利用が多くなっていますが、渋滞によって円滑な物の流れに支障をきたしています。



【伏木富山港(富山地区)】 【田尻交差点付近の渋滞状況】

政策目標①：交通の円滑化

4 並行路線や市街地が渋滞

- 対象区間の渋滞を避けるために、並行する県道や市街地中心部に入り込んだ車が渋滞を引き起こしています。



(富山市五福8区付近)

【並行する県道富山高岡線の混雑状況】

5 円滑な救急搬送に影響

- 富山市北西部から県立中央病院や富山市民病院への搬送は、対象区間の渋滞により、救急搬送にかかる時間が長くなり、救急活動への影響が懸念されます。



【混雑する国道8号を走る救急車】

6 河川氾濫時の救援活動に影響

- 対象区間の一部(田尻付近)が洪水浸水想定区域に含まれており、神通川が氾濫した場合には、道路の寸断等により、救援活動等への影響が懸念されます。



資料：とやまの洪水浸水想定区域図 (H29年4月)

【洪水浸水想定区域図(神通川)】

政策目標④：快適・安心な暮らしづくり

政策目標⑤：災害に強い道路の確保

(3) ルート帯案の概要

●各ルート帯案(対策案)の概要と各評価項目における整備効果等を、図と比較表を用いて説明する。

■ルート帯案比較表

※青字:メリット、赤字:デメリット

国道8号(中島～本郷)のルート帯案

凡 例			
	一般国道		鉄道施設
	補助国道		集落（住宅団地）
	主要地方道		河川氾濫浸水域
	一般県道		
	高架区間		



※青字:メリット、赤字:デメリット

評価軸 対策案			【案①】交差点立体化	【案②】6車線化	【案③】バイパス
概要			交通課題が顕在する交差点を立体化	現在の道路(以下、現道)を4車線から6車線に拡幅	現在の道路(以下、現道)とは別のバイパスを整備
断面図			※交差点部		
政策目標	交通の円滑化	① 交通混雑を緩和	・ 交差点の立体化により、 渋滞が緩和	・ 走行車線が増えるが、信号交差点が残るため、 渋滞緩和の効果は小さい	・ バイパスへ交通が転換し、 渋滞が大幅に緩和
	交通安全の確保	② 交通安全を確保	・ 渋滞に起因する 交通事故が大幅に減少	・ 信号交差点が残るため、 交通事故減少の効果はない	・ 渋滞に起因する 交通事故が減少
	地域産業の活性化	③ 企業活動(輸送時間の短縮、定時性の確保)を支援	・ 信号交差点を通過しないため、 輸送時間を短縮でき、移動に必要な時間を想定しやすい	・ 信号交差点が残るため、 輸送時間を短縮できず、移動に必要な時間を想定できない	・ 信号交差点を通過しないため、 輸送時間を短縮でき、移動に必要な時間を想定しやすい
	快適・安心な暮らしづくり	④ 公共交通の定時性向上	・ 国道8号への交通転換により、 バス路線の混雑緩和が期待できる	・ 信号交差点が残るため、交通転換による バス路線の混雑緩和は期待できない	・ 国道8号への交通転換により、 バス路線の混雑緩和が期待できる
		⑤ 救急車の搬送時間短縮	・ 信号交差点を通過しないため、 搬送時間が短縮	・ 信号交差点が残るため、 搬送時間を短縮できない	・ 搬送距離が延びるため、 搬送時間を短縮できない
	災害に強い道路の確保	⑥ 河川氾濫時の緊急通行確保路線の確保	・ 高架・盛土構造により、 河川氾濫時においても緊急通行確保路線の確保が可能	・ 平面構造のため、 河川氾濫時において緊急通行確保路線を確保できない	・ 盛土構造により、 河川氾濫時においても緊急通行確保路線の確保が可能
配慮すべき点	環境等への影響	⑦ 自然環境への影響	・ 交差点前後区間の整備のため、 影響は小さい	・ 現道を拡幅するため、 影響は小さい	・ 新たに道路を整備するため、 影響は大きい
	生活への影響	⑧ 移転等が必要な家屋数	・ 少ない	・ 少ない	・ 多い
		⑨ 生活環境(大気・騒音等)への影響	・ 渋滞の緩和に伴い、 現道沿線の大気・騒音等の改善が期待される	・ 信号交差点が残るため、 現道沿線の生活環境(大気・騒音等)の改善は期待できない	・ 交通がバイパスに転換するため、 バイパス沿線の生活環境(大気・騒音等)への影響が大きい
	工事の影響	⑩ 工事中の交通規制	・ 交差点前後区間で工事するため、 交通規制が多い	・ 現道を工事するため、 交通規制が最も多い	・ 新たに道路を整備するため、 交通規制は少ない
建設費		⑪ 建設費用	・ 約400～450億円	・ 約200～250億円	・ 約700～750億円

(4) 質問内容(案)

- ルート帯案を検討する際に、特に重視すべきことについて確認する。
- 自由意見や回答者の属性も確認する。

■ 質問内容(案)

〔地域住民用〕 〔事業者等用〕 共通

問1 国道8号(対象区間)の道路利用についてお聞きします。
(該当するものに○を付けてください)

A.利用頻度	1.週に5回以上 3.週に1～2回 5.年に数回	2.週に3～4回 4.月に1～2回 6.利用したことがない(問2へ)
B.利用目的	1.通勤・通学 2.通院 3.家事・買物 4.仕事(営業) 5.仕事(運送・運搬) 6.仕事(送迎) 7.仕事(旅客) 8.観光・レジャー 9.その他(括弧内にご記入ください)	

問2 ルート帯案を検討する際に、以下の政策目標の評価項目の中から、特に重視すべきと思われる項目を最大2つまで選んでいただき、番号とその理由をお書きください。

- ① 交通混雑を緩和できること
- ② 交通安全を確保できること
- ③ 企業活動を支援(輸送時間の短縮、定時性の確保)できること
- ④ 公共交通の定時性が向上すること(並行バス路線の混雑が緩和されること)
- ⑤ 救急搬送時間の短縮ができること
- ⑥ 河川氾濫時の緊急輸送道路としての信頼性が確保されること

問3 ルート帯案を検討する際に、以下のその他評価項目の中から、特に重視すべきと思われる項目を最大2つまで選んでいただき、番号とその理由や内容をお書きください。

- ① 自然環境への影響が少ないこと
- ② 移転等が必要な家屋が少ないこと
- ③ 生活環境への影響(大気質や騒音等)が少ないこと
- ④ 工事中の交通規制の影響が少ないこと
- ⑤ 建設に要する費用が安いこと
- ⑥ その他(上記以外で重視すべき項目についてご自由にお書きください)

問4 対象区間全体について、ご意見がありましたら、ご自由にお書きください。

■質問内容(案)

〔地域住民用〕

あなたについてお聞かせください。				
A.住所	1.富山市 5.滑川市 9.南砺市 13.立山町 16.新潟県(市・町・村) 17.石川県(市・町) 18.その他(都・道・府・県)	2.高岡市 6.黒部市 10.射水市 14.入善町 市・町・村) 市・町) 都・道・府・県	3.魚津市 7.砺波市 11.舟橋村 15.朝日町 市・町・村) 市・町) 都・道・府・県	4.氷見市 8.小矢部市 12.上市町 市・町・村) 市・町) 都・道・府・県
B.年齢	1.10代 5.50代	2.20代 6.60代	3.30代 7.70代以上	4.40代
C.職業	1.会社員 5.主婦・主夫	2.公務員 6.無職	3.自営業 7.その他(	4.学生)
D.性別	1.男	2.女		

〔事業者等用〕

貴事業所についてお聞かせください。				
A.住所	1.富山市 5.滑川市 9.南砺市 13.立山町 16.新潟県(市・町・村) 17.石川県(市・町) 18.その他(都・道・府・県)	2.高岡市 6.黒部市 10.射水市 14.入善町 市・町・村) 市・町) 都・道・府・県	3.魚津市 7.砺波市 11.舟橋村 15.朝日町 市・町・村) 市・町) 都・道・府・県	4.氷見市 8.小矢部市 12.上市町 市・町・村) 市・町) 都・道・府・県
B.業種	1.農業・林業 4.建設業 7.水道業 10.卸売業 13.不動産業 15.学術研究・技術サービス業 17.飲食業 19.娯楽業 21.医療・福祉業 23.その他(	2.水産業 5.製造業 8.情報通信業 11.小売業 14.物品賃貸業 16.宿泊業 18.生活関連サービス業 20.教育・学習支援業 22.その他サービス業)	3.鉱業・採石業 6.電気・ガス業 9.運輸業 12.金融・保険業 16.宿泊業 18.生活関連サービス業 20.教育・学習支援業 22.その他サービス業)	